

報道関係者各位

2017年9月25日

アットホーム株式会社

トレンド調査 — “満員電車と住まいの関係”調査—**通勤時の混雑が原因で引っ越したいと思った 33.2%**
通勤時の混雑を考慮して住む場所を決めた 24.9%

不動産情報サービスのアットホーム株式会社(本社:東京都大田区)は、首都圏在住で都内に電車通勤をしている会社員男女 618 名を対象に、“満員電車と住まいの関係”調査を実施しました。

本年7月、東京都により、通勤ラッシュを回避するために通勤時間をずらす、「時差 Biz」という取り組みが働き方改革の一つとして実施されました。小池百合子都知事が掲げる公約に「満員電車ゼロ」があることから、今後もさらに満員電車軽減に関する動きが出てくることが考えられます。

そこで、本調査では、「満員電車が住む場所に与える影響」や「満員電車に対する意識」などを調査しました。

<主な調査結果>

- ◆通勤電車の混雑が原因で「引っ越したい」と思った 33.2%
- ◆住まいの場所は通勤電車の混雑を考慮して決めた 24.9%
- ◆次の引っ越しは電車の混雑も意識して住まい探しをしたい 45.3%
- ◆住まいを探す際は不動産店スタッフに、電車の混雑の情報も教えてほしい 57.8%
- ◆部屋の広さをとるか通勤の楽さをとるか 「狭いけど通勤が楽」派 61.0%
- ◆満員電車の軽減方法として有効だと思うもの「時差通勤導入」 65.2%
- ◆通勤電車の混雑が嫌で「時差通勤をしている」 29.0%

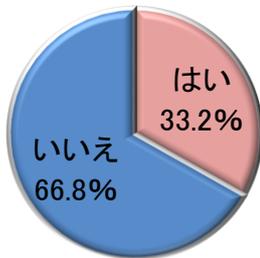
<調査概要>

- ◆対象/1都3県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住、電車を使って都内に勤務する、20~69歳会社員、男性309名、女性309名、計618名。
- ◆調査方法/インターネットリサーチ
- ◆調査期間/2017年8月25日(金)~8月26日(土)

<調査結果>

■通勤電車の混雑が原因で「引っ越したい」と思った 33.2%

Q. 通勤電車の混雑が原因で、引っ越したいと思ったことがありますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



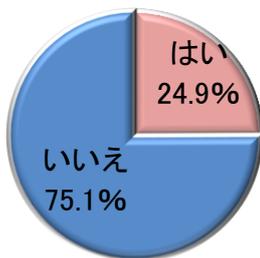
Q. 通勤電車の混雑が嫌で、引っ越しをしたことがありますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



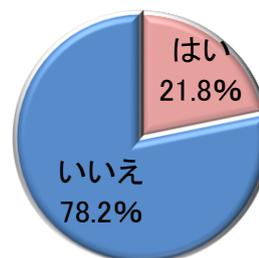
通勤電車の混雑が原因で「引っ越したいと思ったことがある」という人は 33.2%で、3 割以上にのぼりました。一方で実際に、通勤電車の混雑が嫌で「引っ越しをしたことがある」という人は 8.3%でした。

■通勤電車の混雑を考慮して住む場所を決めた 24.9%

Q. 現在のお住まいは、通勤時の混雑を考慮して、場所を決めましたか？
(対象:618名、有効回答:618名)



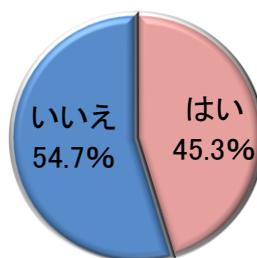
Q. 通勤の混雑具合も考慮して、住む場所を決めれば良かったと思いますか？
(対象:現在の住まいの場所は、通勤時の混雑を考慮しなかった464名、有効回答:464名)



現在の住まいは、「通勤時の混雑を考慮して場所を決めた」という人が 24.9%で、4 人に 1 人という割合でした。また、「通勤時の混雑を考慮しなかった」という人のうち、21.8%は「通勤時の混雑具合も考慮して決めれば良かった」と思っていることがわかりました。実際に住んでから初めて通勤時の満員電車を体験して、後悔している人は少なくないようです。

■次の引っ越しは電車の混雑も意識して住まい探しをしたい 45.3%

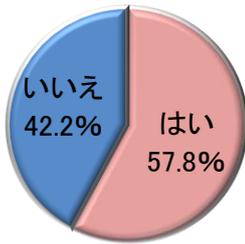
Q. 今後引っ越しをする際、電車の混雑具合を意識して住まい探しをしようと思いますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



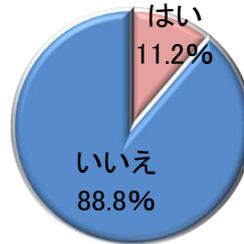
今後引っ越しをする際、「電車の混雑具合も住まい探しの際に意識したい」という人は 45.3%にのぼりました。

■住まいを探す際は不動産店スタッフに、電車の混雑の情報も教えてほしい 57.8%

Q. 物件探しの際、不動産店の担当者に、電車の混雑に関する情報も教えて欲しいと思いますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



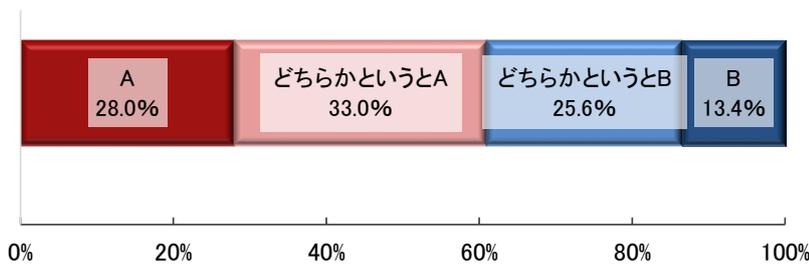
Q. これまで物件探しの際、不動産店の担当者から、電車の混雑に関する情報を教えてもらったことはありますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



住まい探しの際、不動産店の担当者に、「電車の混雑に関する情報を教えてほしい」という人は57.8%と、6割近くにのぼりました。ただ実際に、不動産店の担当者から「教えてもらったことがある」という人は1割程度でした。

■部屋の広さをとるか通勤の楽しさをとるか 「狭いけど通勤が楽」派 61.0%

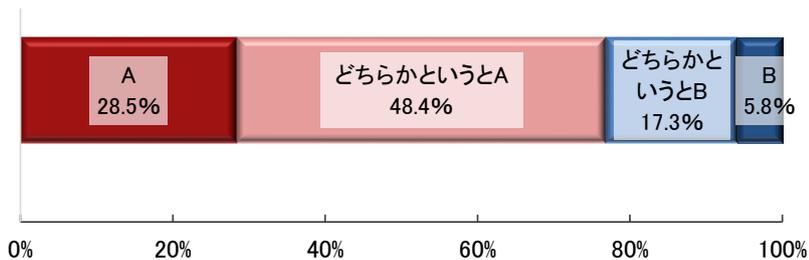
Q. あなたが現在一人暮らしをしています。同じ額の家賃を払うなら、
【A】間取り1R、広さ20㎡、会社から徒歩10分の部屋
【B】間取り1LDK、広さ40㎡、会社から電車で60分乗り続けて通勤する距離にある部屋
AとBのどちらを選びますか？(対象:618名、有効回答:618名)



一人暮らしの想定で、1Rで20㎡の狭い部屋だけど、会社まで徒歩10分で通える、「狭いけど通勤が楽」な部屋か、1LDKで40㎡の広さだけど、電車で60分乗って通勤する、「広いけど通勤が大変」な部屋、同じ家賃ならどちらを選びたいか聞いたところ、「狭いけど通勤が楽」の「A」と「どちらかというA」を合わせた割合が61.0%と、半数以上となりました。部屋の広さよりも通勤の楽しさをとる人が多いようです。

■通勤時間をとるか混雑具合をとるか 「満員電車で短時間通勤」派 76.9%

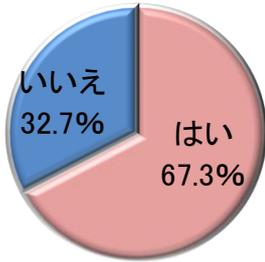
Q. 通勤電車に関して、
【A】周囲の人に圧迫され、身動きできないくらいの満員電車で20分間乗って通勤
【B】ずっと座り続けて、120分間電車に乗って通勤
AとBのどちらを選びますか？(対象:618名、有効回答:618名)



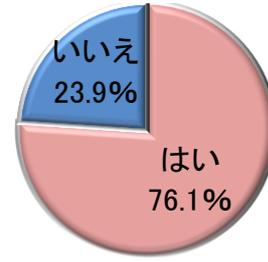
身動きができないくらいの満員電車だけど通勤時間は短い「満員電車で短時間通勤」か、電車の座席に120分間座り続けて通勤する「座って長時間通勤」のどちらが良いか聞いたところ、「満員電車で短時間通勤」の「A」と「どちらかというA」を合わせた割合が76.9%と、圧倒的多数という結果でした。満員電車は嫌でも、時間が短ければ我慢できると考えているようです。

■現在“満員電車”で通勤 67.3%

Q. 現在主に利用している通勤電車は、「満員電車」ですか？(対象:618名、有効回答:618名)



Q. 通勤時の電車の中の時間は、不快に感じますか？(対象:618名、有効回答:618名)

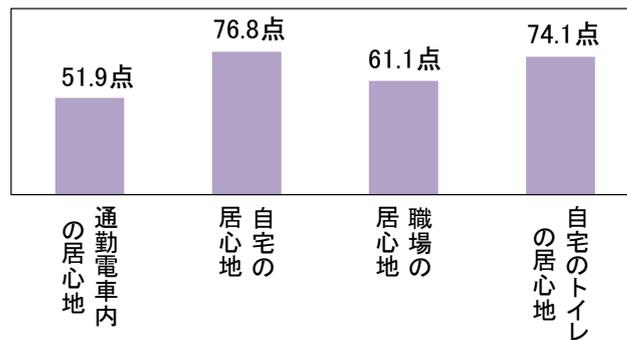


そもそも現在の通勤電車が「満員電車」という人は67.3%でした。また、通勤電車の中にいる時間が「不快である」という人は76.1%で、満員電車でなくても嫌だと感じている人もいます。

■通勤電車の居心地 平均 51.9 点 自宅 76.8 点、職場 61.1 点、自宅のトイレ 74.1 点

Q. 現在の通勤電車内／現在の自宅／現在の職場／自宅のトイレの居心地は、100点満点中何点ですか？(対象:618名、有効回答:618名)

◇平均点

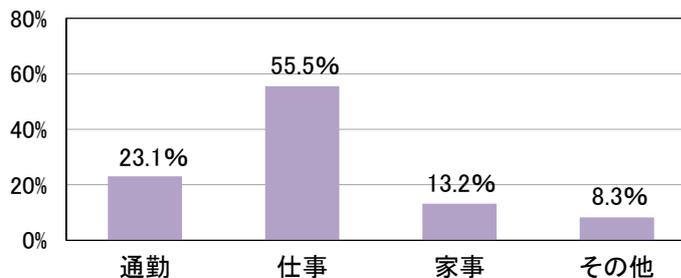


「通勤電車内」「自宅」「職場」「自宅のトイレ」それぞれの居心地に点数をつけてもらったところ、「通勤電車内」はワーストで、平均 51.9 点でした。

■1日に使う体力 100%中「仕事」平均 55.5%、「通勤」23.1%、「家事」13.2%

Q. 仕事がある日、1日に使う体力を100%とした場合、【通勤】【仕事】【家事】【その他】それぞれに使う体力は、100%のうちどれくらいになりますか？4項目の合計が100%になるよう記入してください。(対象:618名、有効回答:618名)

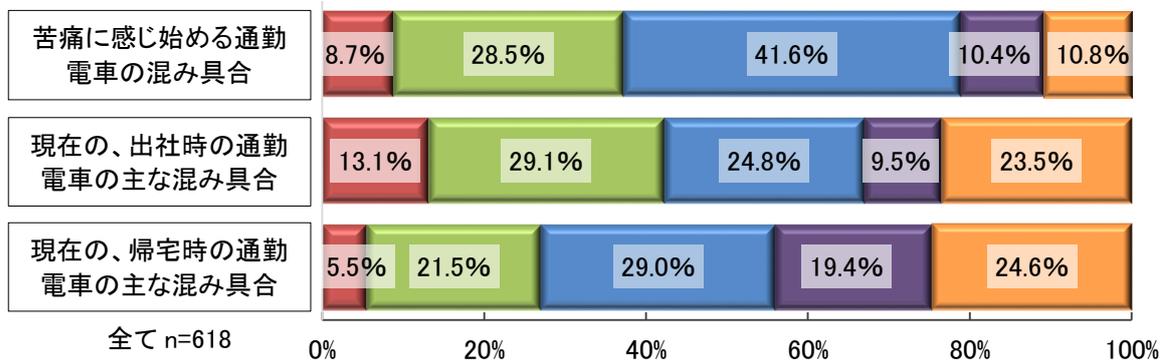
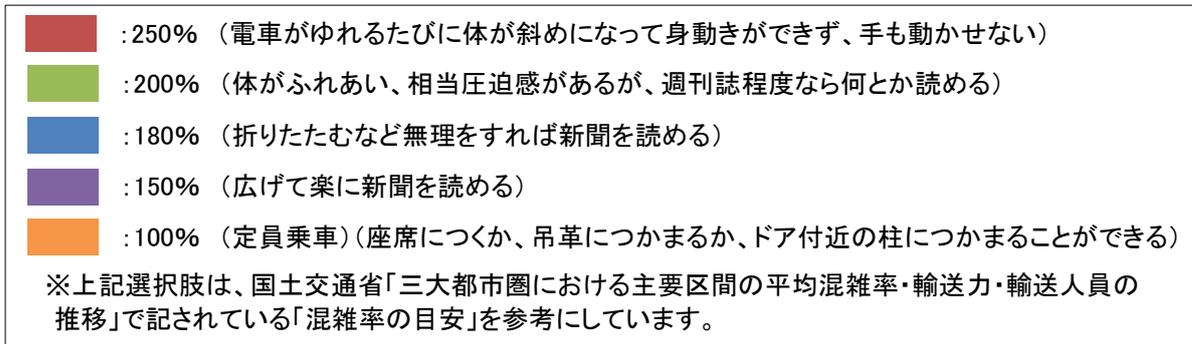
◇平均割合



仕事がある日に、「通勤」「仕事」「家事」「その他」のそれぞれに使う体力を数値化してもらったところ、1日の体力100%のうち最も多く占めているのは「仕事」で平均55.5%、次いで「通勤」が平均23.1%でした。

■苦痛に感じ始める混雑具合「180%」 41.6%

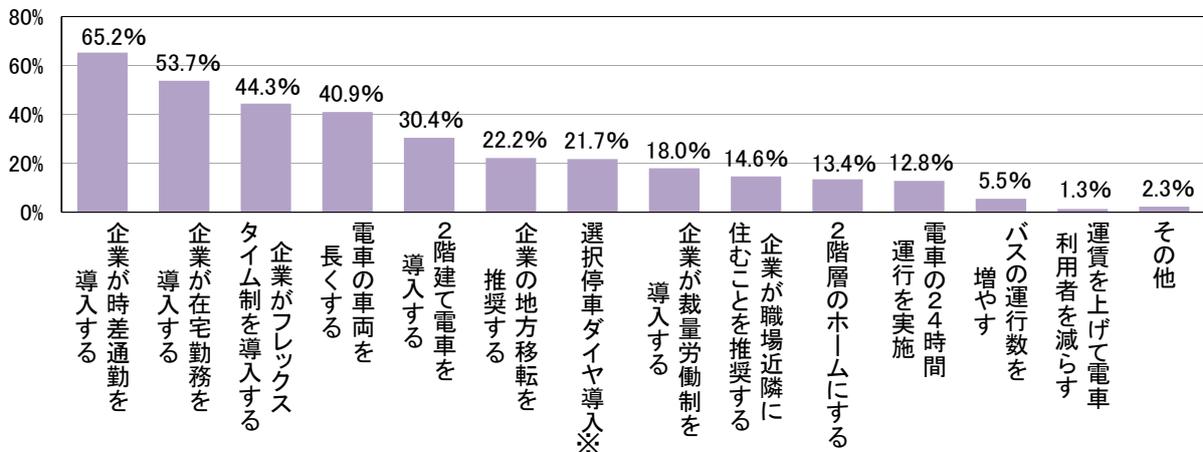
- Q. 苦痛に感じ始める通勤電車の混み具合として、最もあてはまるもの次のうちどれですか？
 Q. 現在の、出社時の通勤電車の主な混み具合として、最もあてはまるもの次のうちどれですか？
 Q. 現在の、帰宅時の通勤電車の主な混み具合として、最もあてはまるもの次のうちどれですか？
 (対象:618名、有効回答:618名 ※全設問共通)



「苦痛に感じ始める通勤電車の混み具合」を聞いたところ、「180% (折りたたむなど無理をすれば新聞を読める)」が最多で41.6%でした。また実際には、「現在の出勤時」は「200% (体がふれあい、相当圧迫感があるが、週刊誌程度なら何とか読める)」が29.1%、「現在の帰宅時」は「180% (折りたたむなど無理をすれば新聞を読める)」が29.0%で最多となっており、行も帰りも苦痛を感じるレベル以上の混雑具合の人が多くいることがうかがえます。

■満員電車の軽減方法として有効だと思うもの「時差通勤導入」 65.2%

- Q. 満員電車を減らす方法として、有効だと思うものをお選びください。(対象:618名、有効回答:618名、複数回答可)

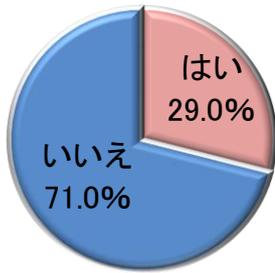


※「選択停車ダイヤ導入」とは、主要駅など、混雑の原因となりうる駅を通過する便を作ることです。

満員電車を軽減させる方法として有効だと思うものを聞いたところ、最も多いのは「時差通勤の導入」で65.2%と6割以上でした。2番目が「在宅勤務の導入」、3番目が「フレックスタイム制の導入」となり、上位は企業での「働き方」に関する項目が占めました。ちなみに、「現実的に実施できると思うもの」も聞いたところ、こちらも最多は「時差通勤の導入」でしたが58.9%と減少し、企業によっては実現が難しいと考えている人もいます。

■通勤電車の混雑が嫌で「時差通勤をしている」 29.0%

Q. 通勤電車の混雑が嫌で時差通勤をしていますか？(対象:618名、有効回答:618名)

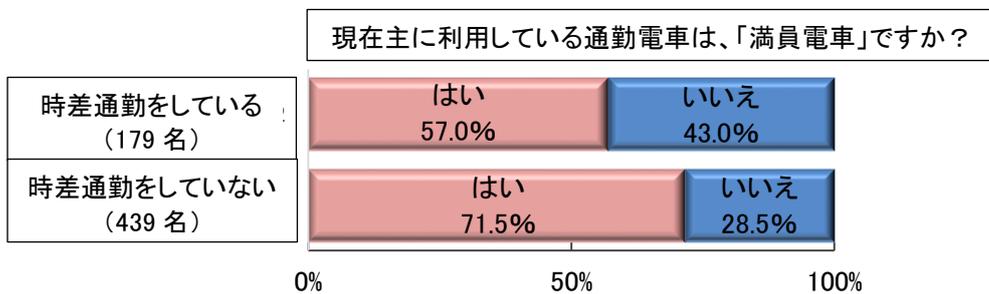


通勤電車の混雑が嫌で“時差通勤”を「している」という人は29.0%でした。ちなみに、“時差通勤”を「している」人のうち、46.9%が、「会社がフレックスタイム制を導入している」と回答しています。

◇時差通勤をしているかと、通勤電車が満員電車か否かのクロス分析

Q. 通勤電車の混雑が嫌で時差通勤をしていますか？(対象:618名、有効回答:618名)

Q. 現在主に利用している通勤電車は、「満員電車」ですか？(対象:618名、有効回答:618名)



“時差通勤”を「している」人でも、現在の通勤電車が「満員電車」という人は57.0%いますが、“時差通勤”を「していない」人(71.5%)と比べると14.5ポイントと少なくなっています。

◇時差通勤をしている人とそうでない人の、通勤電車内の居心地

Q. 通勤電車の混雑が嫌で時差通勤をしていますか？(対象:618名、有効回答:618名)

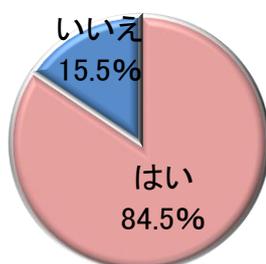
Q. 現在の通勤電車内の居心地は、100点満点中何点ですか？(対象:618名、有効回答:618名)

	通勤電車内 居心地 平均点
時差通勤をしている (179名)	56.8点
時差通勤をしていない (439名)	49.9点

“時差通勤”を「している」人と「していない」人で、通勤電車内の居心地度を比較したところ、「している」人の居心地の平均点は56.8点、「していない」人は49.9点でした。

■「在宅勤務」は満員電車の軽減に役立つと思う 84.5%

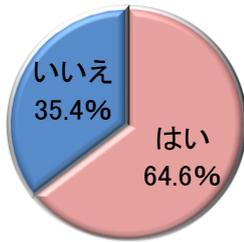
Q. 「在宅勤務」の普及は満員電車の軽減に役立つと思いますか？(対象:618名、有効回答:618名)



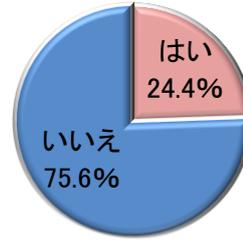
“在宅勤務”の普及は満員電車の軽減に「役立つと思う」という人は、84.5%と8割以上にのぼりました。

■有料の「確実に座って通勤ができる電車」があることを知っている 64.6%

Q. 追加料金を払って、確実に座って通勤ができる電車を知っていますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



Q. 追加料金を払って、確実に座って通勤ができる電車を利用したいと思いますか？
(対象:618名、有効回答:618名)



鉄道会社が徐々に導入を進めている、“運賃を追加すれば確実に座って通勤ができる電車”の認知率は64.6%でした。また、約4人に1人はこの“確実に座って通勤ができる電車”を「利用したい」と思っていることがわかりました。

<調査対象者属性>

性別	人数		年代	割合	
	618名	100.0%		618名	100.0%
男性	309名	50.0%	20代	15名	2.4%
			30代	53名	8.6%
			40代	106名	17.2%
			50代	102名	16.5%
			60代	33名	5.3%
女性	309名	50.0%	20代	61名	9.9%
			30代	102名	16.5%
			40代	98名	15.9%
			50代	42名	6.8%
			60代	6名	1.0%

居住エリア	人数	割合
全体	618名	100.0%
東京都	392名	63.4%
神奈川県	82名	13.3%
埼玉県	68名	11.0%
千葉県	76名	12.3%

婚姻状況	人数	割合
全体	618名	100.0%
既婚	307名	49.7%
未婚	311名	50.3%

子どもの有無	人数	割合
全体	618名	100.0%
子ども有り	239名	38.7%
子ども無し	379名	61.3%

居住形態	人数	割合
全体	618名	100.0%
一戸建て持ち家	172名	27.8%
マンション持ち家	158名	25.6%
賃貸物件	256名	41.4%
公営・公団住宅	15名	2.4%
給与住宅(寮・社宅・官舎等)	17名	2.8%

会社概要

- 会社名 : アットホーム株式会社
- 創業 : 1967年12月
- 資本金 : 1億円
- 年商 : 252億4,500万円(2016年6月～2017年5月)
- 従業員数 : 1,452名[男911名、女541名(2017年8月末現在)]
- 代表者名 : 代表取締役会長 松村 文衛 取締役社長 鶴森 康史
- 本社所在地 : 東京都大田区西六郷 4-34-12
- 事業内容 : ●不動産会社間情報流通サービス
 - ・ファクトシート・リスティング・サービス(図面配布サービス)
 - ・ATBB(不動産業務総合支援サイト)●消費者向け不動産情報サービス
 - ・不動産総合情報サイト「アットホーム」
 - ・不動産総合情報サイト「アットホーム モバイル」
 - ・新築・分譲マンション専門サイト「アットホーム 新築マンションブリーズ」●不動産業務支援サービス
 - ・「ホームページ作成ツール」等、ホームページコンテンツ支援
 - ・「不動産データプロ」等、不動産関連情報
 - ・集客プロモーションツール等、業務サポート
 - ・「アットホームスタディ」等、資格・知識習得支援
- 加盟・利用不動産店数 : 54,440店(2017年9月1日現在)
- 会社案内 : <http://athome-inc.jp/>

■■報道関係者へのお願い■■

本リリース内容の転載にあたりましては、「アットホーム調べ」という表記をお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ先】

アットホーム株式会社 プロモーション推進部 広報担当: 八木

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-2 内幸町東急ビル アットホーム日比谷オフィス
TEL: 03-3580-7504 Mobile: 080-5988-1413 E-mail: contact@athome.co.jp